

2021-3号(2021/5/7)

かわら版

新年度が始まりました。
この機会にご加入を！！

東京大学教職員組合発行
TEL/FAX: 03-5841-7971 (ext.27971)
<https://tousyoku.org/>

何かおかしいと感じたら syokikyoku@tousyoku.org まで

ひとりで悩まず…つながりましょう！！



いまだに収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染拡大は、私たちの労働にも大きな影響を及ぼしています。その結果、新たな課題が生じるだけでなく、以前からの問題がよりはっきりした形で目に見えるようにもなってきました。たとえば、メリットも少なくない在宅勤務ですが、深夜や休日に仕事のメールが届くようになり、果たして労働時間は守られているのだろうかと思ってしまうことがあります。また、非正規労働者が正規労働者ほどには健康と安全が配慮されず、通勤時の感染リスクに不安を抱えながら出勤している事例も見聞します。周知のように、コロナ禍によって多くの労働者が大幅な収入減や失業を余儀なくされていますが、特に大きな不利益を被っているのは非正規や女性労働者です。もちろん、コロナ禍が唯一の原因ではありませんが、いま社会の至るところで労働に関わる矛盾や問題が深刻の度を増しており、格差拡大が進んでいます。

残念ながら、私たちの職場である東大も決して例外ではありません。東京大学教職員組合（東職）には、組合員だけでなく、未加入の教職員からも雇用、労働条件、職場環境に関わる相談が寄せられています。労働組合は、労働者が団結して、雇用者に対し憲法や法律で保障された雇用や労働条件に関する権利の保障を求めるために存在しています。そもそも、労働者が団結して労働組合を結成すること自体、私たち労働者の権利です。東職では、広く東大全体に関わる問題だけでなく、個別の部局・部署や職場の問題であっても、労働者の権利が守られていない状況があれば、大学法人に対し問題を指摘して解決を求め、交渉を行っています。とりわけ、恣意的な雇い止めの不安に曝され、賃金、手当、休暇、教育研修機会などの点で正規職員との不合理な格差のもとに置かれている有期雇用、短時間勤務（非常勤）教職員の権利保障に力を入れ、まだまだ課題はありますが、数々の前進を獲得してきました。

東職は、誰もが安心して生き生きと働ける職場を求める教職員の声を聞き取り、その実現のために活動しています。教職員がばらばらでは解決できないことも、相互につながり、力をあわせることで可能性が開かれます。それが労働組合の存在意義です。ぜひ、東職に加入して、東京大学で働く仲間の輪を広げていきましょう。

東京大学教職員組合

伝言板

～お奨め・教職員共済～

東職書記局から月1回送られてくる書類の中に「教職員共済」のパンフレットが入っていた。今まで掛け捨てのものに加入した事はあっても、いつ移動・転居するか分からない身には、お手頃価格の県民共済や住まい地生活クラブ生協のそれに決め手なく来たところだった。月掛金・900円。面白いと思ったのは、契約期間に応じた金額×掛金払込月数分の退職見舞金を支払う項目だ。退職手当・無の自分には嬉しい。他に11の保障内容を含む(教職員賠償、個人賠償、住宅災害等、火災等、災害見舞、死亡、後遺障害、障害、入院・休業、介護、遭難救助)。

電話：0120-628-095

HP：<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

～ろうきん利用者の声～

前職はメーカー勤務で、ろうきんを利用していました。ATM手数料は還元されますし、ローンの繰上返済もしやすく助かりました。

本学に組合があると知り、組合加入後、ろうきん口座を開設しました。今は、普通口座の他、iDeCo、積立NISA、学資ローンの金利が安くなるというのでエース預金を利用しています。相談は昼休みに開催される組合のろうきん相談会を利用しています。わざわざ銀行に行かずにすみ、便利です。(理学部)

～お店にもエールを〈東大近所のお店紹介〉～ 「角屋(かどやパン)」

所在地：目黒区駒場1丁目10番9号

TEL：03-3467-5824

行き方：京王井の頭線「駒場東大前」駅東口を出て徒歩3分。線路沿いを直進、踏切右階段を下り左折、直進右。

駒場Ⅱキャンパスに勤める私が駒Ⅰにほど近いこのパン屋さんを知ったのは、教養職組の集まりに参加した折、食事に供されたパンの美味しさにお店の名を訊いたのがきっかけでした。私のお薦めは、4切入170円のぶどう食パン。じゅわっと葡萄の香りが口いっぱい広がる。カレー・焼きそば・クリームパンの具も手作り。総菜パンは種類も豊富で、他にアップルパイやカップケーキ、サブレといった洋菓子も美味。創業70年を超える老舗のパン屋兼日用雑貨店。 S.A

～オンライン学習会 報告～

「災害・雇用・女性 ～東日本大震災から10年～」

3月12日18:30に終了。希望者への公開準備中。

東日本大震災をきっかけに石巻で猫小物グッズ「ぷちにゃ」を立ち上げ、女性の雇用の創出に寄与されてきた木村真由美さんにお話をいただきました。

地震が起きたら津波から避難することを、普段からシュミレーションしていたそうです。日和山に逃げて、助かりました。学校の体育館の避難所で2日間過ごし、まだ水がひいていないので、避難所で長靴をもらい、杖代わりの棒を持って帰宅したそうです。

仮設住宅への入居が始まり、石巻専修大学が行った仮設住宅入居者対象アンケートで「仕事が欲しい」という声が多かったのをきっかけに木村さんは石巻のウエットスーツメーカーの端材を使った猫小物製作を始め、仮設住宅の女性たちに接着、縫製などの作業をしてもらいました。

厚みのあるウエットスーツ生地加工は難しく、小さな小物を接着、縫製するには、技術がいるそうです。難しい仕事ですが、女性たちの技術はどんどん向上しました。仕事は、金銭的な支えだけでなく、精神の自立につながりました。

震災から、10年経ち、役目は果たしたと、「ぷちにゃ」を終了するそうです。後日、話を聞いたところ、最後の注文は、半年間は作業しなければならないほどの量だったそうです。丁寧に作られた製品は多くの人に愛されたという評価に思えます。

～書記局だより～

今年3月より中濱が書記局員となり、現在は、村山、中濱、梶原のパート体制となっています。

東職の会計年度は4月となっており2020年度分の組合費は、2021年4月末日までに納入をお願いしております。まだ納入されていない方は、各単組のご担当者へお早めにご納入ください。組合費は、各単組の活動や東職の活動、書記局の維持に活用されます。会計は総会で報告します。

東職を応援していただく「サポーター制度」もあります。退職される方や、事情で組合を退会される方にお声がけいただけると嬉しいです。新任・未組合員の方へ組合のお知らせ・お誘いもお願いいたします。

東職は、本郷キャンパス第2食堂3階にあります。お気軽にどうぞ →

**東京大学で働くすべての教職員の皆さん！
職員組合に入って、働きやすい職場を作しましょう**

